

くすりのしおり

注射剤

2026 年 09 月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名: グラニセトロン点滴静注バッグ 3mg/50mL 「HK」

主成分: グラニセトロン塩酸塩 (Granisetron hydrochloride)

剤形: 注射剤

シート記載など:



この薬の作用と効果について

セロトニンと受容体との結合を拮抗的に阻害することにより、吐き気や嘔吐を抑える働きがあります。通常、抗悪性腫瘍剤および放射線治療による消化器症状（吐き気、嘔吐）、また手術の後の吐き気、嘔吐（PONV）に用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。心臓など循環器系の機能障害、腎障害、便秘、腹痛、おなかがはる感じがする。
- ・妊娠または授乳中。
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（: 医療担当者記入）
- ・抗悪性腫瘍剤および放射線治療による消化器症状（吐き気、嘔吐）：通常、1 日 1 回静脈内に点滴します。症状により 2 回点滴することもあります。
- ・手術の後の吐き気、嘔吐（PONV）：通常、1 回静脈内に点滴します。
- ・効果をみながら使用期間を決めていきます。

生活上の注意

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

副作用として、頭痛、発熱などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

下記のような症状があらわれ、[] 内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・立ちくらみ、呼吸困難、胸が苦しい、かゆみ [ショック、アナフィラキシー]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。